

# 事業実施報告書

団体名：特定非営利活動法人わが街さやまの防災ネットワーク

事業名：防災カフェ

## 1 事業の目的

狭山市は、121の自治会があり、96の自主防災組織が立ち上がっています。市から要請された、自主防災組織の結成を縦軸としますと横糸を紡ぐ役、横断的な防災連絡協議会の設置が、不可欠ですし、喫緊の課題です。隣の地区、その隣の地区がどのような活動をしているか、情報共有していかなければ、大災害に対応できません。地域の方々にご理解いただく為に各地区の自治会館をお借りして、防災カフェを開催してきました。

今年度の事業として

- ① 狭山市における防災カフェ未完の自主防災組織への実施。
- ② 地域を超えた近隣の自治会等への防災カフェを実施。

## 2 事業内容

### (1) 事業の概要

防災カフェ・・・開催地区の自治会館をお借りして、自主防災組織の方々、担当地区の消防団との交流会、防災グッズの展示、試食など防災懇談を行い広く防災意識の高揚を図る。

### (2) 事業の流れ

#### ①令和元年度第1回防災カフェ

日時：令和元年10月24日（木） 10：00～12：00

場所：埼玉県入間市藤沢公民館（埼玉県入間市下藤沢846-1）

対象：藤沢4区ひまわり会

参加者：41名



【高橋理事長挨拶】



【防災食への質問】



【防災グッズ・防災食展示】

②令和元年度第2回防災カフェ

日 時：令和2年2月20日（木） 10:00～12:00

場 所：埼玉県入間市ハイネス入間ガーデンア集会所  
（埼玉県入間市上小谷田1丁目3-4）

対 象：ハイネスふれあいの会

参加者：21名



【スタッフとの防災懇談】



【防災グッズの説明】



【防災グッズの体験】

③令和元年度第3回防災カフェ

日 時：令和2年2月25日（火） 13:30～15:30

場 所：埼玉県入間市老人憩いの家（埼玉県入間市大字上谷ヶ貫643番地1）

対 象：入間市老人憩いの家

参加者：21名



【高橋理事長挨拶（代読）】



【防災食への質問】



【防災懇談の様子】

(3) 連携・協力機関

①第1回防災カフェ（令和元年10月24日（木）開催）

協力機関：入間市連合区会長会副会長、藤沢4区自治会長、民生委員

②第2回防災カフェ（令和2年2月20日（木）開催）

協力機関：入間市役所総務部長、入間市地域社会福祉協議会、民生委員

③第2回防災カフェ（令和2年2月25日（火）開催）

協力機関：入間市地域社会福祉協議会及び同協議会コーディネーター、憩いの家

3 成果及び今後の展開

(1) 成果及び効果

①防災の事についてこのような会があることは初めて知りました。との意見。

②普段の生活においてはあまり深く考えることの少ない災害対処について正面から向き合い、考え、意見を交換し、防災への見識を向上させ、意識を高めたようでした。

③各家庭での備蓄防災グッズの発表、例えば何が一番必要か、またどこに保管しておく

か等、更に有意義な意見交換がなされ、こちらからの一方通行だけでは無く、問題を皆で解決しようという参加者の防災意識を強く感じました。

今回は、アンケートは実施いたしませんでしたが、防災カフェを通し防災、減災の重要なことを参加者皆が感じることができたことが、防災カフェの大きな効果として捉えられました。

## (2) 新たな課題

今回の防災カフェの開催において、今後、取り組んでいく課題として高齢化が進んでいる現状において、高齢者に対応した防災を自助・減災に結び付けられるか具体的な事例を示すこと、それが実行可能なものかが今後の重要な課題。

上記課題に対し、南海トラフ地震や首都直下地震の発生時における対応、事前の備えについて誰が何時どのようにするか等、年齢・家族構成・住居状況・情報の収集等々、具体的な図解等も含め誰もが分かりやすく理解しやすい内容の防災カフェとして、「自助」・「共助」・「災害を減災に」の防災意識向上に努めたい。